

光をたたえて

～グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

あなたの人生のあらゆる瞬間が、
真理の光で輝きますように

あなたのマインドが、チダーカーシュ、内なる空にある
輝かしい寢床で安らぎますように

あなたの知性が、この光を隅々まで体験できますように

神の炎が、あなたの心に永遠に宿りますように

あなたが吸い込む息の一つ一つ、吐き出す息の一つ一つが、
シャクティの光で満ちあふれますように

あなたの日々が、シュリー・グルの恩恵への感謝で始まり、
夜が、シュリー・グルへの感謝の気持ちで終わりますように

ディーパーヴァリーが、あなたにとって大変縁起の良いものとなりますように！

『リグ・ヴェーダ』には、次のように記されています。

真理は一つである。

賢者たちは、それをさまざまな名前と呼ぶ
同様に、すべての灯は一つの本質を共有しています
その本質が光です

この光は、太陽と月の中にあります

それは人々の瞳の中に、

笑い声や笑顔の中にあります

それは他者への祈りの中に、

すべての人々が健やかで

幸運に恵まれるようにという

高潔な希望や慈愛に満ちた願いの中にあります

この同じ光は、シュリー・グルの無限の恩恵の中にあります
それは神の祝福の中にあります
インドのさまざまな地域で、
ディーパーヴァリーについて
いかに異なる物語が語られているかを見てみてください
それでも、灯は同じです——
その光も同じです
礼拝をささげる伝統も
同じなのです
私たちが成し遂げなければならないのは、内面的な成長であり、
外的な成果よりもはるかに重要なものです
私たちの存在の真の基盤は、内側にあります。
この礼拝をささげる伝統——
その種は先祖たちによってまかれ、
守り継ぐようにと私たちに託されたものです
私たちは受け継いだものを無視することはできません
この伝統の力は、
単に外的な成功に反映されるものではありません。

愛への道、神への道、
英知への道、大いなる自己への道、
献身への道、解脱への道は、
常に光に満ち輝いています
この真実を常に思い出させてくれる人々を
私たちはしばしば必要とします。

このような思い出させる人々が必要になった理由は、
過去の長い長い年月の間に、
人間がある習慣を身につけてしまったことです
この習慣とは何でしょうか？
それは、いつも何かしらを探し続けていることです
人々は探し回ることに夢中になっています——
ここを探し、あそこを探し、
ここをのぞき、あそこをのぞき、

この人に尋ね、あの人に尋ねます
時には特定の人を追い掛け、
時には誰かの夢を奪います
彼らの思考は、

まずはこの方向へ、
そして、あの方向へとさまよい続けます。

彼らは何度も何度も、同じ踏み固められた道を歩き続けます
たとえ、この道を再びたどっても、
得られるものは何もないこと、
手に入るものなど何もないことを
十分に承知しているにもかかわらず
ではなぜ、人々は決まりきったことを繰り返すことに、
これほど執着するのでしょうか？

彼らは何度も何度も、
自分のマインドの中に築いた巣に潜り込み、
そこにはもう何も残っておらず、
何の意味も見いだせない時にさえ、
決まりきった物語の、
もう聞き飽きた話の泥沼にはまります

彼らはぐるぐると回り続け、
その間ずっと、激しい戦いを繰り広げています
自分自身と、
他者と、
そして、自分たちを取り巻く広い世界と

彼らは内面の葛藤に反応して、自分自身と闘います
彼らは、「私の人生は彼らの人生よりも良くなければならない」
という信念から、他者と闘います

こうした架空の葛藤に巻き込まれ、
彼らは決して満足感を保つことができません
このような話に聞き覚えがありますか？
ええ、あなたはこのような状況をよく知っているでしょう、
私はそれを確信しています。

話を続けさせてください。

あなたはきっと

光があるからこそ

あらゆるものが輝くのだと知っているはずです

光があるからこそ

あらゆるものが姿を現します

何かが光を放つ時、

あなたの目はその方向へと向くのです

私たちは毎年、ディーパーヴァリーの祝祭を祝うことを心待ちにしており、

というのもこの時期は、ほんの少しの努力で

内から湧き上がる甘美な感情を

抱くことができるからです

きらきらと

光り輝き

美しく

この上なく喜びに満ちたディーパーヴァリーの炎が、

内にある幸福、

マインドの静けさ、

心に満ちあふれる喜び、

私たちの幸せで、希望に満ちた夢を

再び照らし出します

そうではありませんか？

外なる火は、

目に見えない内なるシャクティの

温かさと光を表します

外なる火は、

内に秘められたあらゆる感情や衝動を明らかにします

灯の光は、

純粋さの象徴です。

サッドグナ、すなわち美德について言えば、

真っ先に、

際立つものは何でしょうか？

光です。

ダイヤモンドがその輝きで知られ、

金がその光沢で知られるように、

美德もまた、その生来の輝きによって際立っています

だからこそ、私たちは自然と、

美德を体現する人々に引き付けられるのです

しかし、誰かの中に

悪意や悪徳の気配をほんのわずかでも感じ取ると、

同じように突然に、

私たちは逃げ出したくなる衝動を覚えます。

なぜでしょうか？

私たちは内側に嵐が 吹き荒れかけているのを感じます。

なぜでしょうか？

ネガティブな特質について言えば、

それらを支配しているのは闇です

闇の働きとは、

できるだけあなたをその網のわなに陥れ、

あなたの目に無知という目隠しを

きつくかぶせ続けることです

そして、それがあなたを甘やかす巧妙さは、言うまでもありません

あっという間に、あなたはその策略に引っ掛かってしまいます

そこが問題なのですよ？

容赦ない闇がその爪であなたをつかむと、

あなたのマインドは善意から遠く離れてしまいます

かたくなな執拗さのために、

それは良心的でない行いに巻き込まれ、

卑劣さと悪意に飲み込まれます

頑固に、あなたは、

闇の中で響き渡っているものに、

真実味があると信じています

あなたはあまりにも頑固になったので、

それしか感じ取れなくなり、

それしか理解できなくなります——

それ以上は何もありません。

光は灯の炎の中にあり

燃え盛る火の中にもあります

火にはさまざまな形があります——

穏やかな火

静かな火

荒れ狂う火

消化の火

愛の火

サーダナーの火

苦行の火

内なる浄化の火

挙げれば切りがありません…

火は光の使者です

しかし、私たちが火を敬うことを怠ると、

火は恐ろしく凶暴な姿を

取ることがあります

脅威となる姿の火は、「怒り」です

それが向かう先はただ一つ、破壊であり——

あらゆる場所を破壊します。

そのような破壊を防ぐために、

あなたは怒りの火を鎮め、

その焼けるような熱を冷まさなくてはなりません

平和は平和を生むのです。

ディーパーヴァリーは、何列もの連なる灯に彩られています

どこを見ても、光の海です

どちらを向いても、灯の華やかさです

その一つ一つが、黄金のように輝いています

まるで美の女神が

四方八方に、

大地と空に、

月や星をちりばめた

彼女の透き通るショールを掛けたかのようにです

明るさと活気が、その場の空気全体に浸透しています

分断も敵意もなく、

不満も悲しみありません

ディーパーヴァリーは私たちが親近感の色合いで染め、

私たちを愛と思いやりに浸します

どの家庭でも、

裕福な人の家であろうと貧しい人の家であろうと、

ディーパーヴァリーはすべての人に保護を与えます

一年の毎日、神の神殿ではアーラティーの灯がともされます

それでも、ディーパーヴァリーの輝く灯の連なりには

どこか独特で心引かれるものがあります

その輝きは、みんなのものです

神聖な炎の芳香が

心の中庭を満たす時、

それは私たちにこのようなメッセージを伝えます：

愛をもって、あなたの声を高めなさい

光をもって、あなたの心の悲しみを清めなさい

灯のラーガを歌いなさい

灯の拍動に合わせて踊りなさい

灯のきらめく音に耳を傾けなさい

灯の大いなる意識を体験しなさい

シュブ・ディーパーヴァリー！

その灯は小さく、その炎は揺らめいています

その灯は控えめで、その姿は優美です

その灯は常に喜びに満ち、その性質は公平です

その灯は心配がなく、

その光線は果てしなく広がっています

その灯は貴重であり、その貢献は並外れています

その貢献とは何でしょうか？

それはすべての人を一つに結び付け、

大きな喜びと共に、

彼らがこの、自分たちの祝福された人生に対して

感謝をささげられるようにします

それが灯であり、
その存在こそが
人々に変容をもたらす力を持つのです
ともされた灯の花輪を通じて
本質的に、神々や女神たちは崇拝されています
人々が信頼と信仰、
献身、崇敬、
そして敬意に満ちた心を持って集う時、
その魂は高揚します
彼らのマインドは熱意と活気に満ちあふれます
この宇宙の至る所で——
三界のすべてにおいて——
火の要素は
最も重要な位置付けを与えられてきました

その灯を通して、
喜びの甘露

喜びの灯、スクディープ

その灯を通して、
幸福と愛

愛の灯、プレームディープ

その灯を通して、
グルの恩恵

グルの灯、グルディープ

その灯を通して、
知識の現れ

知識の灯、ニャーナディープ

その灯を通して、
献身のバーヴ

献身の灯、バクティディープ

その灯を通して、
至福のラサ

至福の灯、アーナンダディープ

灯を通して、
平和の保護

平和の灯、シャーンティディープ

灯を通して、
解脱への道

解脱の灯、モークシャディープ

シュブ・ディーパーヴァリー！

私は「ディーパ・ジョーティ・ストートラム」のこの一節が大好きなので、
皆さんに紹介したいと思います
多くの方がこの一節をご存じかもしれません
インドでは、この賛歌は
世代から世代へと受け継がれ、
口承で保存されてきました
深い信仰をもった信奉者たちによって守られてきたのです：

śubham karoti kalyāṇam ārogyam dhanasampadā |
śatrubuddhivināśāya dīpajyotir namo'stu te ||

おお、灯のまばゆいばかりの炎よ——
縁起が良く、慈愛に満ち、
健康と豊かな富を受け、
内なる闇という姿をした
敵を滅ぼす——
あなたに、私は敬意を表します。

シッダ・ヨーガの道において、アーラティーの修行は
比類なき価値を持っています
神の前で輝く炎を揺らすと、
あなたは神が宿る聖なる空間を
光で満たすことになります

同時に、自らの存在の中で

シャクティの流れ、
真理の知識の流れを照らし出すのです
あなたがささげるアーラティーの成果は
あなたの先祖に届きます
アーラティーのダルシヤンは
あなたの今の人生、そしてすべての来世を高めます
次の一節は、賛歌「チッドヴィラーサ・スタヴァ」からのものです
これは、アーラティーの本質、
そのより深い意味に対する
あなたの気づきを深めてくれます：

pañcadhā prasarataś cidātmano hy āntarasya bahirindriyādhvanā |
sāmarasyam iha samvidātmanārātrikaṁ param idaṁsamīritam ||

神の前でアーラティーの炎を揺らす
究極の目的は、
個人の自我——
五感という五つの経路を通じて
外へと流れ出るもの——が、
純粋な大いなる意識と完全に一体となることにある。

シュブ・ディーパーヴァリー！

新年おめでとうございます！

愛を込めて
グルマーイ・チッドヴィラーサーナンダ

